

## <指導上のポイント>

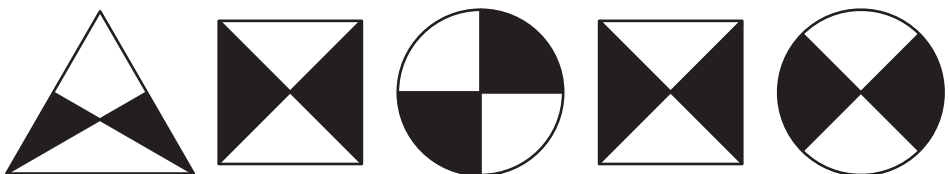
「思考する」ということは、たとえ大人であっても苦手な人にとってはとても難しいものです。しかし、この「同類図形」の問題を正しく指導すると、広い視野を獲得できるので、全体把握能力が育ちます。全体把握能力は、注意力・判断力・創造力の基礎となる能力であり、それらは「思考する」ためには欠かせない能力です。つまり、「同類図形」の問題は、高い思考力を育てるには最適な教材と言えます。

さて、「同類図形」問題の取り組み方ですが、まずは与えられた絵や図形の全てを同時に視野に入れることが一番大切です。次に、同時に全てを視野に入れ、同じものを探すと同時に、1つしかないもの、つまり、絵や形がすぐに1つだけしかないとわかるものは、頭の中で消去して、正解として選ぶものから排除します。

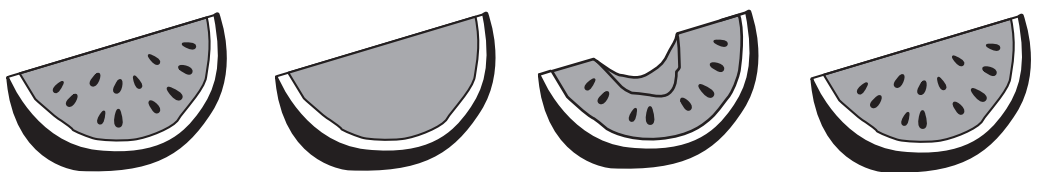
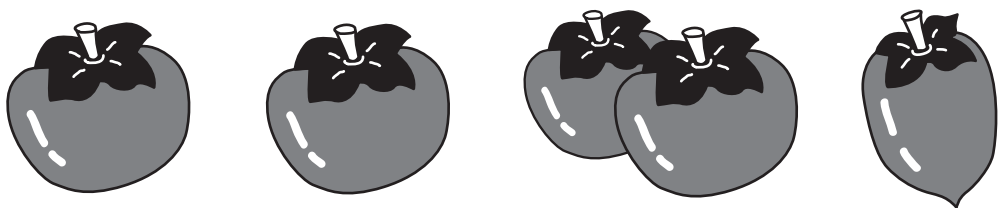
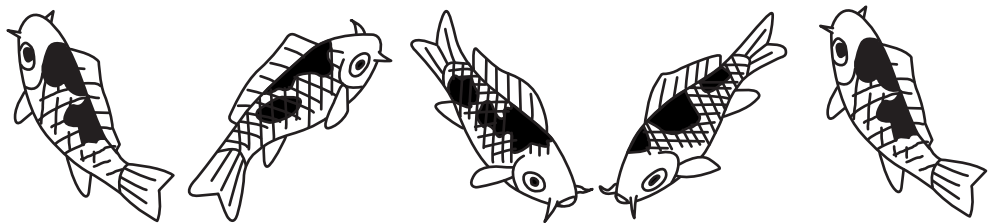
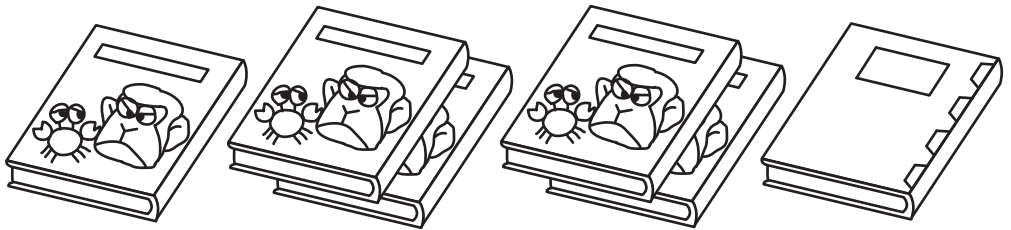
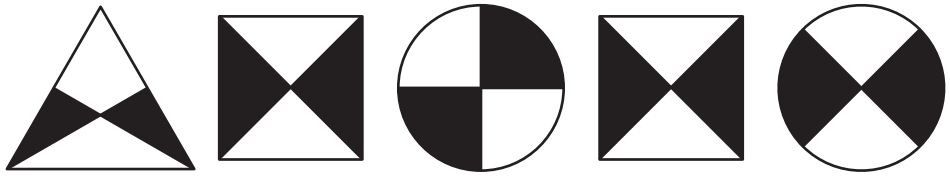
3個ぐらいまでに絞り込めば、たやすく全てを同時に見ることができますので、仮にこれとこれが同じ形だと決め、確かにそうなるかどうかの確認をします。確認して正しければ、答えに○をしましょう。

以上のような、違う動作を同時に2つ、3つとこなすことによって、3次元空間処理能力が育ちます。つまり、関係の中で、問題を解決できるようになります。2～3個以上のものを関係の中で見るということは、比較するということなので、差異が明確となり、速く正確に問題を解決することができます。



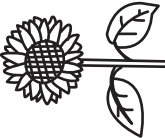



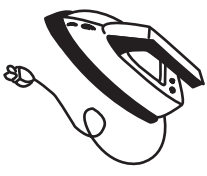













以上の点に留意して、この問題集に取り組んでください。



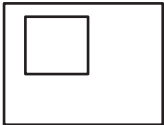
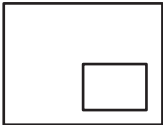
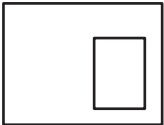
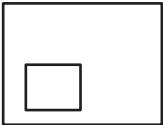
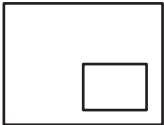
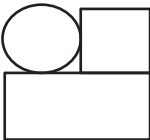
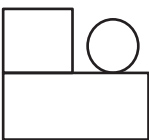
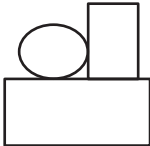
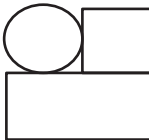
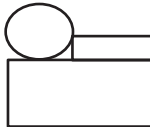
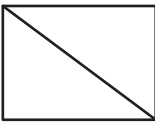
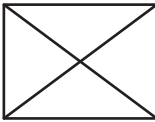
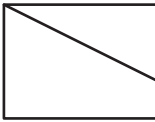
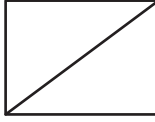
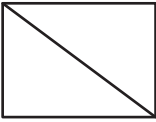

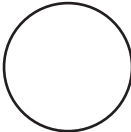

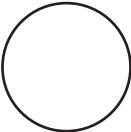
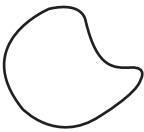
<問題 1 > 次の中から、同じ形や絵を2つみつけて、○をつけましょう。



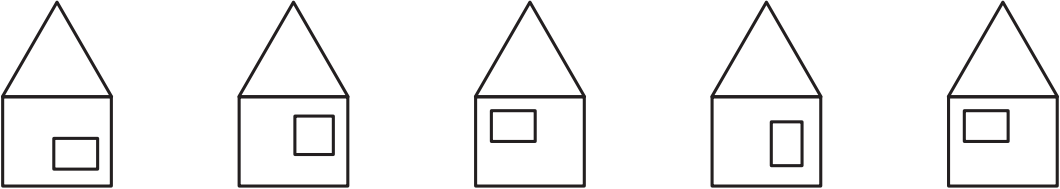
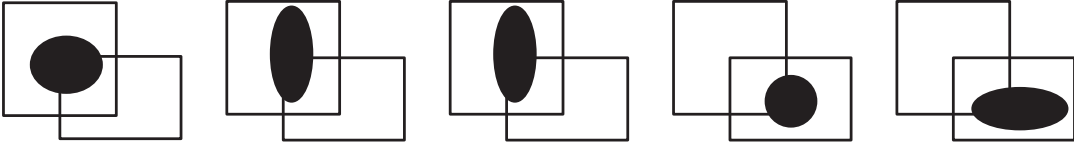

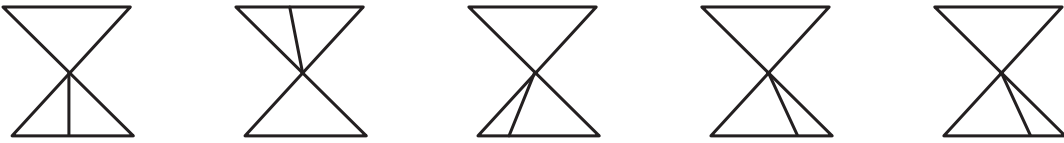
<問題 6 > 左端と同じ絵を右から1つ選んで、○をつけましょう。

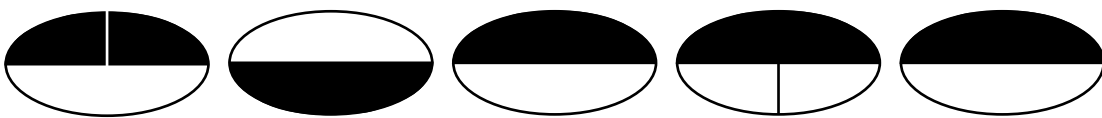
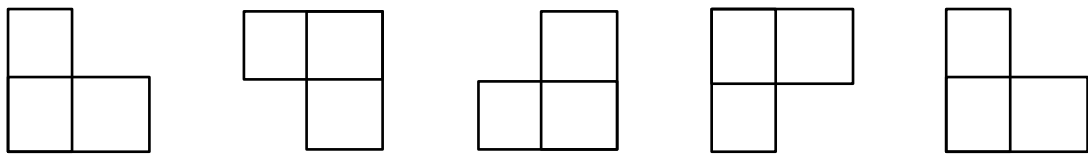
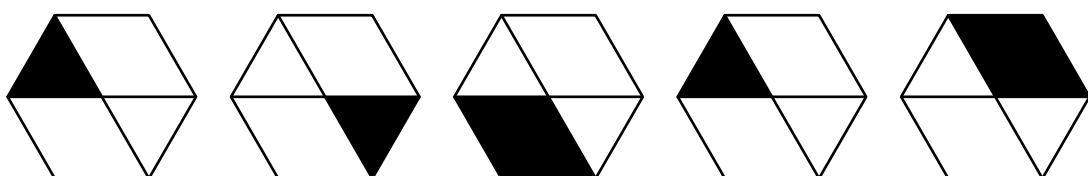
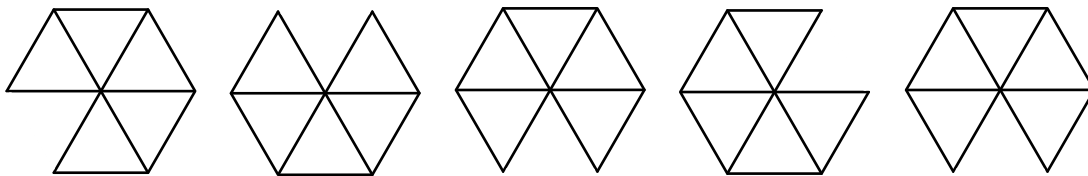
<問題11> 次の中から、同じ形を2つみつけて、○をつけましよう。

<問題16> 次の中から、同じ形を2つみつけて、○をつけましよう。

<問題21> 次の中から、同じ形を2つみつけて、○をつけましよう。

<問題26> 次の中から、同じ形を2つみつけて、○をつけましよう。
